

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

| | |
|-----------------------|---|
| 会 議 名 | 平成28年度 高松市安全で安心なまちづくり推進協議会 |
| 開 催 日 時 | 平成28年8月2日（火） 10時～11時25分 |
| 開 催 場 所 | 高松市役所 4階 会議室 |
| 議 題 | (1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について (2) 平成27年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業報告について (3) 平成28年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業計画について |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上 記 理 由 | |
| 出 席 委 員 | 14人 |
| | 坂本会長、伊藤委員、井上委員、井藁委員、小野委員、葛西委員、千崎委員、田窪委員、田中委員、千葉委員、廣瀬委員、藤田委員、松村委員、山下委員 |
| 傍 聴 者 | 1人（定員 若干名） |
| 担 当 課 及 び 連 絡 先 | くらし安全安心課 防犯・空き家係（TEL 839-2555） |

| 協議経過及び協議結果 |
|--|
| <p>※議題(1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組についての報告のため、香川県警察本部垣見管理官が出席。</p> <p>1 会長の互選</p> <p>会長については、坂本委員を推挙する意見が出され、全員一致で了承された。また、会長の指名により職務代理者は小野委員に決定した。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について（報告）</p> <p>近年の犯罪の現状と香川県警察本部の取組について、県警本部垣見管理官から報告</p> <p>報告内容</p> <p>ア 香川の犯罪情勢</p> <p>(ア) 刑法犯認知件数は、減少傾向である。</p> <p>(イ) 本年度上半期で、還付金等詐欺の認知件数が大幅に増加している。</p> <p>イ 香川県警察の取組</p> <p>(ア) 老人学級などへの防犯指導、高齢者に対する個別の訪問活動や金融機関との連携</p> <p>(イ) 防犯環境の整備・ボランティア団体等に対する支援・防犯対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心地図情報提供システム ・ヨイチスマートメールの加入促進 |

質問等

(委員)

防犯機器として電話撃退装置があり、装置を固定電話に設置していれば、自動応答で通話を録音するというメッセージが流れる仕組みとなっている。最近高齢者でも携帯電話を利用する人が増えてきているが、装置は固定電話だけでなく携帯電話にも対応しているのか。

(県警)

現在、携帯電話に対応している装置は無い。しかし、携帯電話会社によっては、一部サービスで対応しているものがあり、携帯電話会社が登録している詐欺の電話番号からの着信を拒否できるサービスなどがある。録音機能については対応していないはずである。

(委員)

高齢者の方から、詐欺の電話がかかってきたとの話をきいたことがある。息子と名乗る人物から電話があり、「仕事に失敗したため、お金を電車の駅まで持ってきてほしい。家から離れることになるので、携帯電話の番号を教えてほしい。」と言われ、電話番号を教えたが、偶々、娘の携帯電話番号であったため被害を防げたとの話だった。そのような事例があるため、携帯電話にも録音開始メッセージの自動応答機能などがあると防犯に役立つと考える。

(委員)

地域に県警から電話撃退装置の貸与を受け、実験的に設置している家があるが、装置の種類が2種類あり、一つは県警が詐欺等で登録している電話番号からの着信を拒否するもので、もう一つは自動応答メッセージを流し、番号登録ボタンを押すことで通話できるものである。メッセージを流す機種を着信拒否の機種へ交換することはできないのか。これから設置するものはメッセージを流す機種のみとなるのか。

(県警)

装置は機種によって性能が様々であるため、業者が設置した機種などによって色々なパターンがある。

(委員)

実験的に設置している装置は、最終的には有料となるのか。

(県警)

実験期間が終われば、有料若しくは撤去となる予定である。県警が県内に無償で設置している300台の装置については、無償で譲渡する予定で検討している。

(委員)

高齢者の万引きが多いということだが、生活に困ってか、ゲームとしての万引きなのか、それぞれの割合を教えてください。

(県警)

詳しい割合については統計資料がない。しかし、高齢者の再犯率は、高めであり、家庭や生活への支援が必要と考えている。

(2) 平成27年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業報告について

平成27年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業について、事務局から報告

内容

ア 地域における防犯活動への助成

(ア)安全・安心活動基盤整備事業補助金

(イ)安全・安心防犯環境整備事業補助金

イ 防犯灯の新設等への助成

ウ 防犯協会等への助成等

(ア)3地区防犯協会への助成

(イ)(公財)香川県暴力追放運動推進センター及び(公社)かがわ被害者支援センターへの負担金の交付

エ 防犯セミナーの開催

質問等

(委員)

防犯灯ではなく、防犯カメラは助成金の対象外となるのか。

(事務局)

県警が市内に設置している131機の防犯カメラについて、電気代を補助している。

(3)平成28年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業計画について

平成28年度高松市安全で安心なまちづくり支援事業について、事務局から説明

内容

ア 地域における防犯活動への助成

(ア)安全・安心活動基盤整備事業補助金

(イ)安全・安心防犯環境整備事業補助金

イ 防犯灯の新設等への助成

ウ 防犯協会等への助成等

(ア)3地区防犯協会への助成

(イ)香川県暴力追放運動推進センター等への負担金の交付

エ 防犯セミナーの開催

質問等

(委員)

近々、地元公園ができる予定となっているが、その公園に防犯カメラを設置してほしい。県警からは、設置は難しいとの返事を受けたことがあるが、公園は夜間に中高生のたまり場となる可能性が高いので、防犯カメラの設置を検討してほしい。

(事務局)

公園への設置ということなので、プライバシーの問題もある。公園管理者に伝え、連携して検討したい。

(委員)

公園は今後、防災拠点や避難所としても利用できると考えているため、是非防犯カメラの設置をお願いしたい。

(事務局)

防犯カメラについては地域コミュニティや連合自治会とも相談しながら検討していきたい。

(委員)

オートロックや管理者不在のマンションが増えているが、その中で助けや家庭への支援を必要としている子どもがいたとしてもわからないのではないか。民生委員の方はどのようにして助けを必要としている子どもの居場所を把握しているのか。

(委員)

民生委員が子どもの居場所を把握する方法としては、小さな子どもについては3・6か月健診での保健師の助力があり、子どもが健診に来ていないなどの情報を民生委員に伝えてもらっている。ただし、訪問しても子どもや親が不在で会えない場合もあるが、小まめに巡回を行って、民生委員という立場での訪問を行い、確認するようにしている。

(委員)

千葉県のアートロックマンションで少女が誘拐されていたのに外部からはわからなかったという事件があった。香川県でそのような事件が起こらないように何か対策はないだろうか。

(事務局)

地域や自治会での見守りが基礎になってくると考える。ただし、マンションの場合は自治会の加入率が非常に低く、誰が隣に住んでいるのかもわからないことが多い。そこで、マンションで自治会を結成してもらい、見守り活動を行ってもらうことを目指し、マンションの管理会社とも連携しながら自治会結成に向けて取り組んでいる。それが、結果的に防犯に役立つと考えている。

(委員)

子どもの居場所については住所を変更した場合は把握できるが、家庭事情によって住所変更しないまま、別の場所に移動している場合があり、そのような場合の把握は非常に難しい。現状では、近所の方へ話をお伺いするしか方法がない。

3 その他

意見等

(委員)

香川県婦人団体連合会について説明

(委員)

自治会加入促進の取組や自治会活動の啓発を行ってほしい。

(事務局)

地域コミュニティ協議会や自治会と連携しながら自治会活動の啓発に取り組んでいる。なかなか効果が現れないのが実状ではあるが、防犯においても自治会が大きな基盤であると考えているので、引き続き自治会への加入促進や啓発について取り組んでいきたい。

(委員)

支援を必要とする子どもについて、地元の民生委員や主任児童委員と関わっていけるようにしたい。

(委員)

他県で不審者侵入による悲惨な事件発生したため、地域のコミュニティセンター等の施設や個人等で不審者侵入訓練を行うべきである。